

平成25年度 都市農村共生・対流総合対策交付金 事業実施主体 評価一覧

【取組メニュー: 子ども農山漁村交流】3件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
				H25	H26	H27		
沖縄総合事務局	沖縄県	国頭村	国頭村安田区体験活動推進協議会	●	○	□	A	計画どおり全ての項目及び内容を実施する中で、体験プログラムの開発、農業体験活動等の受入、ボランティアの開催、体験活動の技術習得研修など地域おこし協力隊の助言や役場、連携するNPOの協力を得て、計画どおり取組が実施できており、定住者の確保、交流人口及び売上の増加などの目標が達成できていることから、総合的に成果を十分上げていると認められる。
沖縄総合事務局	沖縄県	大宜味村	NPO法人おおぎみまるごとツーリズム協会	●	○	□	A	計画どおり全ての項目及び内容を実施する中で、受入農家の資質向上のための定期的な研修会・講習会を実施し、安全・安心の確保のため受入農家全戸の旅館業法の経営許可(簡易宿所)取得に向け取り組んでいる。シークワーサーを駆使したイベント企画やグリーンツーリズムを展開し、地域食材を活用した商品をツーリズム・イベント等で販売することで地域特産品の地産地消に取り組むなど総合的に成果を十分上げていると認められる。取組の成果として、平成26年2月に環境省の第9回エコツーリズム大賞特別賞を受賞している。
沖縄総合事務局	沖縄県	八重瀬町他5市町	NPO法人自然体験学校	●	○	□	A	計画どおり全ての項目及び内容を実施する中で、受入体制整備のため地域住民との意見交換や体験指導者の勉強会、研修会を実施し、地域資源調査と地域産業を活用したプログラム開発を通じて農林漁業者との協働による実施体制が確立されている。特に危機管理面で模範となる取組を実施している点は特筆される。また交流人口も大幅に増加しており、総合的に成果を十分上げていると認められる。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調

【取組メニュー：地域資源の活用やボランティアを取り込んだグリーン・ツーリズム】1件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
				H25	H26	H27		
沖縄総合事務局	沖縄県	名護市	久志地域交流推進協議会	●	○	□	A	計画どおり全ての項目及び内容を実施する中で、市の支援員や大学生のインターンを活用し事務局を中心に定例会において具体的な内容を協議するなど実施体制が確立されている。また、地域資源発掘調査や取組説明会を通じ、名護市東海岸13区全体での取組機運が醸成されており、それに伴って民泊部会が結成されるなど、地域ぐるみでのグリーンツーリズムや民泊を実施する取組が展開されていることから総合的に成果を十分上げていると認められる。

【取組メニュー：自然・景観を生かした美しいむらづくり】1件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
				H25	H26	H27		
沖縄総合事務局	沖縄県	国頭村	奥・楚洲地域づくり共生・対流協議会	●	○	□	B	計画の取組項目のうち未実施な項目があったものの、地域資源の保全と活用を図る目的で、奥・楚洲集落の歴史や文化、自然等を再確認するために専門家を交えて検討し、自然・景観を生かした美しいむらづくりの一環として、棚田・猪垣等を再生するなど、地域において付加価値の高い観光メニュー開発の基礎作りに取り組み、「町内・集落福祉全国サミット」でも紹介がなされている。総合的に一定の成果を上げていると認められる。

(注1) 「事業実施段階」の凡例： ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分： A…優良 B…良好 C…低調

【平成25年度都市農村共生・対流総合対策交付金の評価概要】

1. 集落連携推進対策及び人材活用対策

今回の評価では、平成25年度に採択された5団体（うち集落連携推進対策と人材活用対策の両方を採択された団体は3団体）の事業実施結果について評価を行った。

共生・対流促進計画に基づく取組がほぼ実施され、成果も十分上がっていると認められる評価「A」が4団体で全体の80%、取組が一定程度実施され、成果もある程度上がっていると認められる評価「B」が1団体、全体の20%であった。

全ての団体において、本交付金により各団体の地域の課題解決、交流推進等の取組基盤が強化され、一定の成果が出ていると認められる。

また、共生・対流促進計画に基づく取組がほとんど実施されず、成果も上がっていないと評価された団体はなかった。

【平成25年度都市農村共生・対流総合対策交付金等評価委員会の議事概要】

【現地調査】

1. 日 時： 平成26年8月26日(火) 9時45分～11時10分
2. 場所： 沖縄県八重瀬町
3. 出席者：
 - ・評価委員会委員 3名 (五十音順)
幸喜 徳子 沖縄石油ガス株式会社代表取締役社長
武田 寛枝 株式会社リクルートライフスタイル沖縄代表取締役社長
内藤 重之 琉球大学農学部教授
 - ・評価委員会事務局
沖縄総合事務局担当者 7名
4. 事業実施主体： NPO法人自然体験学校
5. 調査内容：

交付金事業の取組概要、成果等について説明を受けたのち、質疑応答及び意見交換を行った。
また、実施している体験プログラムのうち「芋掘り体験」を行う圃場の様子を確認した。

【評価委員会】

1. 日 時 平成26年8月26日(火) 15時20分～17時15分
2. 場所 沖縄総合事務局 会議室
3. 出席者
 - ・評価委員会委員 3名 (五十音順)
幸喜 徳子 沖縄石油ガス株式会社代表取締役社長
武田 寛枝 株式会社リクルートライフスタイル沖縄代表取締役社長
内藤 重之(委員長) 琉球大学農学部教授
 - ・評価委員会事務局
沖縄総合事務局担当者 7名
4. 議事概要
 - 1)都市農村共生・対流総合対策交付金の評価について
・集落連携推進対策、人材活用対策の各実施団体の評価内容案について、委員からの意見聴取を行った。
 - 2)都市農村共生・対流総合対策交付金の評価結果案のとりまとめ
・上記1)の結果を踏まえ、集落連携推進対策、人材活用対策の各実施団体の評価結果案について、公表用評価コメントを様式にとりまとめた。

5. 評価委員会委員の主な意見

No.1 国頭村安田区体験活動推進協議会

- ・子ども達にとって忘れられないような経験を提供しており、素晴らしい取組だと思う。
- ・定住人口の増加に繋がる仕組みも期待したい。

No.2 NPO法人おおぎみまるごとツーリズム協会

- ・満足度の高い体験プログラムを提供することで、リピーターが増加することを期待したい。

No.3 NPO法人自然体験学校

- ・着地型観光のコースを研究しており、素晴らしい活動だと思う。

No.4 久志地域交流推進協議会

- ・目標値において、売上の実績が高く、事業の成果が発揮されており素晴らしい。

No.5 奥・楚洲地域づくり共生・対流協議会

- ・地域の資源を生かし、景観を整える取組は素晴らしい。「緑」を楽しむための観光客を呼べるスポットになることを期待したい。

担当課:沖縄総合事務局農林水産部経営課、土地改良課